

再生増殖制御学セミナー

骨格筋内脂肪の形成に寄与する 間葉系前駆細胞の同定

講師: 上住 聡芳先生

藤田保健衛生大学総合医科学研究所難治治療学 助教

日時: 平成 22 年 1 月 18 日(月) 16:00・

場所: 再生医科学研究所 東館 5F ルーフテラス

< abstract >

骨格筋は優れた再生能を有しており、その再生は骨格筋幹細胞である筋衛星細胞が担っている。一方で、筋ジストロフィー等の病態下では、筋の変性、萎縮に伴い、骨格筋内に脂肪細胞の蓄積を認める。この異所性脂肪細胞が筋衛星細胞の分化異常により発生するのか、他に供給源となる細胞が存在するのかは不明であった。私達は最近、骨格筋間質に筋衛星細胞とは異なる間葉系前駆細胞を同定し、この細胞が骨格筋内に見られる異所性脂肪細胞の起源となることをつきとめた (Nat. Cell Biol. in press)。この新たに見出された間葉系前駆細胞の特性と、骨格筋組織恒常性維持における筋衛星細胞との相互作用の重要性について紹介したい。

主催: 京都大学グローバル COE 「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」

連絡先: 再生医科学研究所

再生増殖制御学分野 (瀬原) Tel:751-3826

